



【発信日】 令和3年12月14日

【問合わせ先】

大野市図書館 乾 孝子

電話 0779-65-5500 内線 78-570

大野市図書館 土壌、設備ともに異常なし

～ 17日（金）からボイラー再稼働 ～

昨年12月に確認されました大野市図書館重油漏れにつきましては、2度にわたり実施した土壌汚染状況調査が完了し、「重油漏れによる土壌対策については、浄化対策の必要はない」と、調査機関から報告されました。

この報告を受け、現在、本格的に寒さが厳しくなる時期に間に合うよう設備の再点検と調整を行った結果、安全が確認されました。17日（金）からボイラーを再稼働する予定としましたので周知をお願いします。

なお今後も、適切な設備の管理を行うとともに、周辺民家の地下水の水質検査を継続して行います。

【図書館重油漏れについて】

1. 経緯

令和2年12月 ボイラーからサービスタンクへの油戻し用配管からの油漏れが確定した。

図書館周辺5カ所の住宅や施設の水質検査を実施したが、異常はなかった。

令和3年 6月 図書館北側駐車場において土壌汚染状況調査を行った結果、「図書館の敷地内には漏洩した重油で汚染された土壌は存在せず、浄化対策の必要はない」と、報告があった。

8月 事故の重大性から、範囲を拡大して追加調査を実施したが、油類は検出されなかった。

2. 結論

調査の結果、漏洩した重油は地下に存在しない。その理由として、覚知が早かったため漏洩量自体が少なかったことで油汚染土壌が確認されなかった可能性がある。これに基づき、図書館の重油漏洩による土壌対策については、特段の対策を行う必要はないと報告された。

3. 今後について

- ・重油タンクの残油量を引き続き目測し、油漏れがないか確認を行う。
- ・地下水の水質への影響については、継続して周辺民家の水質検査を行う。